

理科 第4学年 生き物の1年をふり返って 検討会の想定問答

指摘 1：本時で何を見取るのか。

返し：既習の内容や生活経験を根拠に、「季節ごとの記録を並べると、生き物の変化にどんな関係が見えるだろうか」について予想を立て、調べた事実と関係付けて表現している。結論だけではなく、どの事実を選び、なぜその事実で説明できると考えたかを見る。B(2)の学習を具体的な記録で確かめる。

指摘 2：活動だけで終わらないか。

返し：年間を通じた同じ植物と動物の記録を季節順に並べ、気温の記録と対応する位置に貼る。葉・花・実・芽、動物の活動を別々に整理し、暖かさとの関係が分かる説明を付ける。活動後に中心の問いへ戻り、事実と説明を線でつなぐ。B(2)で求める理解と表現をそこで確かめる。

指摘 3：予想と違う結果が出た場合はどうするか。

返し：違う個体や場所の記録を混ぜるときは注記を付ける。すべての植物が冬に葉を落とすとはとめず、記録した種類による違いを残す 予想に合わせて結果を書き換えず、条件や資料の読み方を再確認する。B(2)に関わる考えを見直す学習として扱う。

指摘 4：説明や記述が難しい子にはどうするか。

返し：比較する記録を並べ、対象・条件・時期を指差して話せるようにする。気温と生物の変化を対応させる活動では、教師が比較の視点を示してから児童の言葉で説明を聞く。代筆や図の使用は認めるが、考えそのものを教師が決めない。

指摘 5：安全や個人への配慮は何か。

返し：新たな採集を増やさず蓄積した記録を使う。記録に児童の顔や位置情報がある場合は校内での扱いに限定する 実施前の点検ができない活動は共通の記録資料に替え、B(2)の問いを考える機会を確保する。

指摘 6：資料やICTはどのように使うか。

返し：年間を通じた同じ植物と動物の記録を季節順に並べ、気温の記録と対応する位置に貼る。葉・花・実・芽、動物の活動を別々に整理し、暖かさとの関係が分かる説明を付ける。画面は拡大や並列表示に使い、端末がなくても印刷した同じ記録で比較できるようにする。ICTの操作の速さは評価しない。

指摘 7：時数の根拠と削る場合の考え方は。

返し：全4時間は東京書籍の年間指導計画による。各次の配分は本案の提案である。削る場合も「季節ごとの記録を並べると、生き物の変化にどんな関係が見えるだろうか」を追究する記録と説明の時間を残し、同じ資料を読む重複や清書の方法を見直す。安全確認や実物を確かめる過程は省かない。

指摘 8：振り返りと次の指導をどうつなぐか。

返し：「季節ごとの記録を並べると、生き物の変化にどんな関係が見えるだろうか」について最初の考え、根拠にした記録、まだ残る疑問を読み比べる。年間の変化を説明する資料を完成する活動で根拠が不足した児童には、その記録を次時の導入に戻して確認する。態度は感想の長さではなく、調べ方や説明を見直す行動を継続して見る。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

